



前後町長から賀寿を受ける鈴木さん(左)

鈴木静江さんが 100 歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

3月1日に満100歳の誕生日を迎えた鈴木静江さん(曲渕)への賀寿贈呈式は3月2日、同日、鈴木さんの自宅で行われました。前後公町長が、鈴木さんに賀寿や祝い金などを贈呈。続いて湯田邦彦県会津保健福祉事務所副所長と戸田忠義町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品を贈りました。あいさつに立った長男の吉彦さんは「父が戦死した後、母は女手一つで家を守ってきた。ことしも元気に過ごしてほしい」と話しました。

住民の安心安全確保のため

金曲班に消防ポンプ自動車交付

町消防団の消防機械交付式は3月22日、町役場前で行われ、第4分団3部1班(金曲班)に消防ポンプ自動車1台が引き渡されました。式では、前後公町長が「住民の安心安全を確保するために十分な訓練を重ね、有事に備えるとともに、さらなる予防消防に努めていただきたい」とあいさつし、五十嵐正義団長に管そうを手渡しました。五十嵐団長が団員にあいさつを述べた後、金曲区の渡部勝利区長(当時)が謝辞を述べました。



交付式の様子。手前左が交付された消防ポンプ自動車

町の農業振興への尽力に感謝

農業委員の阿部幸喜さんに感謝状

前農業委員、阿部幸喜さん(伯父ヶ倉)への町感謝状贈呈式は3月25日、町役場で行われました。阿部さんは、あいづ農業協同組合の推薦により選任された委員で、平成24年6月から委員を務め、ことしの3月、同組合が会津よつば農業協同組合へ合併されたことに伴い退任しました。

阿部さんの後任として、会津よつば農業協同組合推薦の土屋勇雄さん(壺下)を選任。同日に辞令が交付されました。



前後町長から感謝状を受ける阿部さん(左)

信頼される自衛官目指し頑張って

町自衛隊協力会が入隊予定者を激励

町内の自衛隊入隊予定者の激励会は3月8日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会会長の前後公町長が、ことし入隊予定の鈴木蓮さん(湊志田=会津工業高卒)と渡部拓夢さん(戸ノ口・三本木・金子沢=同)に激励金を贈呈。前後町長と同会の宇月晴彦副会長がはなむけの言葉を送りました。鈴木さんは「復興へ向かう東北に貢献できるよう頑張りたい」、渡部さんは「災害派遣などで地域に貢献したい」と力強く抱負を述べました。



左から前後町長、渡部さん、鈴木さん、宇月副会長



写真上_ズラリと並ぶ各都道府県の記念貨幣。展示ケースの左側に載っているのは、本県版1000円銀貨幣のイメージ
写真左_「おかいものすころく」で楽しみながらお金の上手な使い方を学ぶ子どもたち

記念貨幣の発行を前に

記念貨幣展示会とマネー教室

福島財務事務所と造幣局は3月26日、野口英世至誠館で地方自治法施行60周年記念貨幣の展示会とマネー教室を開きました。

本県版記念貨幣の通信販売受け付けが始まるのに合わせて実施されたもので、展示会では、本県版記念貨幣のレプリカが展示されたほか、各都道府県の記念貨幣がズラリと並べられました。

マネー教室には、すぐろくでお金の使い方を学ぶコーナー、1億円の重さを体験するコーナー、貨幣枰という道具を使い貨幣を数えるコーナーなどが設けられ、親子連れなどが楽しみながらお金について学びました。

会場では、隣接する野口英世記念館の職員により、野口博士の生涯を紹介する紙芝居も披露されました。

本県版記念貨幣は2種類あり、このうち1000円銀貨幣には、野口英世博士、磐梯山と猪苗代湖があらわれています。1000円銀貨幣の販売受け付け開始は、4月下旬の予定です。

フォーチュネイト先生が一日署長

猪苗代消防署がホストタウン登録に合わせ委嘱

猪苗代消防署は3月1日、ガーナ出身で町外国語指導助手のセイラム・フォーチュネイト・アドックボさんを一日署長に任命しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン構想で、本町と同国との交流計画が正式に登録されたことから実現しました。同署で委嘱状を受けた後、フォーチュネイトさんは消防車両を点検。その後、さくらこども園を訪れ、幼年消防クラブの園児と一緒に火の用心を呼び掛けるなどしました。



消防車両点検の報告を受けるフォーチュネイトさん(左)

災害からの早期復旧に向けて

町と東北電力が災害時等の電力復旧協定を締結

町と東北電力会津若松支社は3月9日、災害時等における電力復旧の協力に関する協定を締結しました。締結式は町役場で行われ、前後公町長と千葉正宏支社長が協定書を交換しました。前後町長は「災害からの早期復旧に向け、連携を強くしたい」とあいさつ。千葉支社長は「災害の際には、いち早く明かりをつけたい」と述べました。協定には、町内で大規模な停電が起こった場合、互いに災害情報を提供することなどが盛り込まれています。



締結式で協定書を交換する前後町長と千葉支社長(右)



祭りではレインボーティカと花の首飾りをつけてもらった後、近所の子ともたちと(右から2人目が阿部さん)

ネパールからの手紙

青年海外協力隊 阿部文子さん(神明町出身)現地レポート

ナマステ！
ネパール連邦民主共和国に
栄養士として派遣中の阿部文
子と申します。
赴任先のダディン郡は全
域が山岳地帯であり、耕地が十
分にありません。そのため住
民の健康状態が悪く、特に乳
幼児に与える影響は大きく
なっています。
私は、現地の保健省に所属
し、人々の健康改善プログラ
ムに参加しています。地域の
人たちの栄養改善を図るため
郡内の村を巡回し、住民に栄
養教育をしたり、配属先のス
タッフや地域保健ボランティア
に指導したりしています。
ネパールの人たちはとても
親切的で、性格も穏やか。日
本人が求める「空気を読む」



ヒンズー教徒の結婚式。丸一日かけて結婚式を行い、その翌日に1日がかりの披露宴がありました。



地震後、家族3人で手造りした家。この村の9割以上がこのような家に住んでいます



主にここで活動しています。この日は予防接種が行われました

ということはありませんが、
ものすごく気を使ってくれま
す。ネパールは、国民の8割
がヒンズー教徒で、生き方に
その考えが反映されています。
年間最大のお祭り「ダサイン」
の時に招待されたお
宅では、ティカ(額
につける赤い粉)を
つけてもらったのが
原因？でその家族の
一員になりました。

今までで一番印象
に残っているのが、
昨年4月のネパール
大地震です。地震の
約2カ月後に、青年
海外協力隊の任地の
中で一番被害の大き
かった郡に移り住ん

だのですが、人々は明るく、
「家が壊れちゃった」と笑い
ながら話す人が多かったです。
先ほど話した、私の家族の家
も全壊しましたが、お父さん
と2人の弟で1カ月かけて建
てた、バラック小屋のような
家で楽しく生活しています。
私の活動は「食」に関する
ことです。問題の根本は、日
本もネパールも変わらないな
と感じることも多いです。主
食がご飯で、カレー味のおか
ずを食べることなど、日本と
の共通点もあります。とは
言っても、基本的な食文化は
異なるので、地域に合った方
法を探りながら、少しでも任
地の方々の役に立てるよう活
動を続けていきたいです。

阿部さんは、平成26年度4次隊の隊員として、2015
年3月に日本を出発しました。帰国は2017年3月の予
定です。

善意をありがとうございます



前後公町長に目録を手渡す森口電気商会の森口和広社長(左)

- LED防犯灯30基、水銀灯1基
- ・森口電気商会
- 野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金として
- ・山田和博さん(奈良県) 30,000円
- ・齋藤辰英さん(郡山市) 100,000円
- 雑巾78枚、きんちゃく袋107枚(翁島小学校へ)
- ・遠藤マサ子さん(伯父ヶ倉)



前後公町長(中央)に寄付金を手渡す齋藤辰英さん(右)



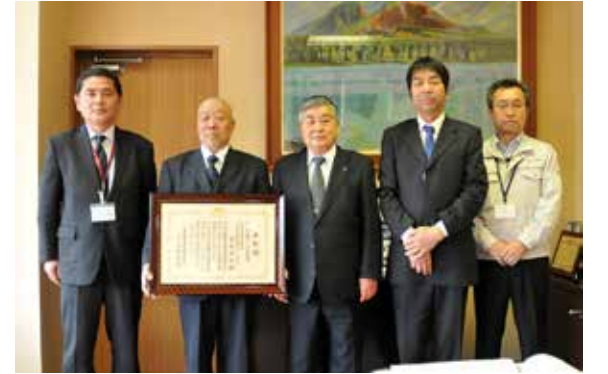
TOWN TOPICS

まちのわだい

地区を挙げての取り組みたたえる

長坂地区「ニューわくわくファーム」に栄誉

長坂地区の農事組合法人「ニューわくわくファーム」は3月25日、全国土地改良団体連合会が実施する「平成27年度農業農村整備優良地区コンクール」の農業生産基盤整備部門で水土里ネット会長賞を受賞しました。同法人の黒澤一代表理事らは3月29日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告。黒澤代表理事は「受賞は、皆さんのご指導やご協力のおかげ。6次化にも積極的に取り組み、町を元気にしていきたい」と話しました。



前後町長(中央)に受賞を報告した黒澤さん(左から2人目)ら

音楽の力でみんなを元気に

いなわしろ復興支援コンサート2016

猪苗代吹奏楽団が主催する「いなわしろ復興支援コンサート2016」は3月20日、学びいなで開かれました。東日本大震災の被災者2人による講演の後、同楽団や猪苗代中吹奏楽部、東京都実践学園高合唱部など、町内外から参加した9団体が演奏を披露。最後は出演者全員による合同演奏を披露しました。友人と訪れたという浪江町出身の女性は「心が温まる素敵なコンサートだった。元気をもらいました」と満面の笑みを浮かべていました。



コンサートのフィナーレを飾った合同演奏

長年の統計調査活動たたえる

阿部隆郎さんと二瓶次夫さんに表彰伝達

町統計調査員の阿部隆郎さん(大原)と二瓶次夫さん(木地小屋)への県統計協会名誉会長表彰伝達式は2月24日、町役場で行われました。伝達式では、前後公町長がそれぞれに表彰状を手渡し、その功績をたたえました。この表彰は、長年にわたり統計調査に従事し、統計の発展と統計思想の普及に貢献した功績が認められたものです。阿部さんは平成14年から、二瓶さんは平成16年から統計調査員を務めています。



表彰伝達を受けた二瓶さん(中央)と阿部さん(右)

町民対象の講座実施などを評価

学びいなに文部科学省の優良公民館表彰

町体験交流館(学びいな)は3月3日、文部科学省の優良公民館表彰を受けました。この表彰は、①同館が町民を対象にさまざまな講座を実施し、大きな成果を収めていること、②学びいな祭りを開催し、各団体などに活動成果を発表する機会を提供していること、③体験鑑賞を通して生涯学習や文化に対する意識を高め、学ぼうとする意欲的な事業を展開したことなどが高く評価されたものです。表彰式は同日、文部科学省の第二講堂で行われました。



表彰状を受ける兼田芳宏生涯学習課長(右)